

# 未来力創造グループ基本方針

担当副理事長 星原 英樹

昨今、日本では急激な人口減少に起因する経済状況を背景に、国が地方創生の進むべき方向を示しています。つまり、各地域がそれぞれの特徴を活かし自律的で持続的な社会を創生しなければならないということです。一方、子どもたちの環境も少子化・核家族化等により急速に変化し、地域社会や家庭における教育力が低下してきています。変革の能動者である我々 J C が、まちと子どもたちの未来の為に率先して行動しなければなりません。

魅力あるまちづくりの実現には、この圏域の特性を活かしながら他に類を見ないブランドを創造し、持続的に地域経済が循環する仕組みを構築しなければなりません。その為にはまず徹底的に調査・分析を行う必要があります。そして、これまで培ってきた先人たちの経験を活かしながら、世代の変わった我々の新しいアイデアを基に、規模の大小に関わらず挑戦していきます。また、同じ目標を持った官民が一体となることで、そこに生まれる絆や郷土愛を育みつつ、経済の循環からなる地域活性化の一翼を担えようと考えます。次に、家庭や地域社会が、教育の場として十分な機能を発揮することなしに、子どもたちの健やかな成長はあり得ません。子どもたちに必要な生きる力とは、さまざまな体験・経験を通して得られる知恵。学習から得られる知識。そして行動力です。つまり、様々な体験活動を通して子どもたちが主体的に考え、試行錯誤しながらも自ら解決策を見いだしていくプロセスにおいてこそ育まれるものです。そこで、生きる力を静と動の視点からバランスよく行う事業を構築することで、心豊かでたくましい人間に成長する機会を創出します。

故郷を愛する心が魅力あるまちを創ってゆく。故郷を愛する心が魅力ある子どもを育てるのです。我々 J C だからこそできる、唯一無二の運動を仲間と共に、精一杯取り組み、失敗を恐れることなく挑戦していきます。このまちの明るい豊かな未来を掴み取るために。